

令和7年度 事業計画・収支予算
【新潟県立吉田病院】

医療法人 愛広会

【令和7年度 事業計画】

1. 基本理念、基本方針

1) 基本理念

『私たちは、地域の皆様の健康を守るため、信頼され選ばれる病院を目指します。』

2) 基本方針

- ① 患者さま本位の医療を提供し、QOL（生活の質）の向上に努めます。
- ② 多職種連携のもとで、良質かつ安全な医療の提供に努めます。
- ③ 患者さまの機能回復と、住み慣れた地域への復帰の支援に努めます。
- ④ 地域の様々な機関との連携を深め、地域包括ケアシステムの実現に努めます。
- ⑤ 安定した病院経営を行い、持続的な地域医療への貢献に努めます。

2. 病院の基本情報

1) 組織図

※添付資料参照

2) 入院機能

※現建物における病床機能転換は完了（令和7年4月1日現在）

合計	急性期一般	地域包括ケア	小児慢性
110床	24床	71床	15床

3) 外来診療科と医師数

診療科	常勤	非常勤	診療科	常勤	非常勤
消化器内科	5	6	小児科（子どもの心診療科含む）	3	4
呼吸器内科	1		眼科	1	
血液内科	1		歯科口腔外科	1	3
総合診療内科	1		リハビリテーション科		2
循環器内科		1	整形外科		1
腎・膠原病		2	耳鼻咽喉科		3
糖尿病・内分泌		5	合計	13	27

3. 診療・経営の質の向上

1) 外来・入院患者数の推計（目標）

【1日当たりの患者数】

	R4年度実績 （通年）	R5年度実績 （通年）	R6年度実績 （通年）	R7年度計画 （通年目標）
外来	326.9	304.3	269.5	259.9人
入院	70.1	69.3	75.6	79.1人

2) 診療機能の維持・充実

①健康診断事業の強化

□燕市胃がん検診の受託、企業健診の受託、人間ドック受入枠の拡大により、健康診断事業を強化

②リハビリテーション提供体制の整備

□リハビリ職を18名に増員できたことで、令和7年度より土曜日を追加して週6日の提供体制に変更

③小児医療の提供体制の強化

□令和7年度より公認心理師1名を増員し、外来及び入院における診療体制を強化

④救急医療の維持

□平日日中の救急受入体制に加えて令和6年度より開始した平日1時間の延長救急と、毎月第3土曜日の土曜救急を令和7年度も継続

⑤人工透析医療の維持

□常勤医師の確保が困難な中で、令和6年度と同様に県央基幹病院や他院の医師の応援により人工透析医療を維持

⑥入退院支援の強化

□患者サポートセンターの看護師を1名増員し、入院支援3名、退院支援3名の6名体制に強化予定

⑦地元自治体等との連携

□燕市胃がん検診の受託など、地元自治体との連携のもとで新たな取り組みを推進

⑧訪問看護ステーションによる在宅高齢者への支援

□訪問看護と訪問リハビリテーションのサービス提供により、医療依存度が残る高齢者に対しての在宅支援を継続

4. 人財の確保状況と職員の育成・教育

1) 主な職種の職員配置計画と現状（令和7年4月1日現在）

職種	配置計画数	現状	不足数	備考
看護師（病棟）	51	50	1	新卒採用者1名辞退により欠員
介護職（病棟）	21	18	3	R6年度から3名増員の計画
看護師（外来）	23	21	2	採用活動を継続中
看護師（手術・内視鏡）	8	9	-1	人財育成のため過剰配置
看護師（透析）	10	9	1	採用活動を継続中
臨床工学技士（透析）	5	5	0	
看護師（患サポ）	3	3	0	医療相談員の代わりに看護師1名を増員予定（6月1日付採用）
医療相談員（患サポ）	3	2	1	
リハビリ職	22	18	4	OT及びST各2名の採用活動を継続中
薬剤師	5	5	0	
診療放射線技師	5	5	0	
臨床検査技師	12	12	0	

視能訓練士	4	4	0	
管理栄養士	2	2	0	
歯科衛生士	2	2	0	
臨床心理士・公認心理師	2	2	0	R6年度から1名増員
合計	178	167	11	

2) 職員の育成・教育

①法人研修制度の活用

□法人の研修制度に位置付けられている「中途採用者研修」「専門分野研修」「階層別研修」の各プログラムに加え、eラーニングを活用した人材育成を継続

②グループ内病院研修

□グループ内5病院の連携のもとで合同研修の開催を計画

5. 経営改善の取り組み

1) 収益の確保

①入院

□県央基幹病院を中心に圏域外の急性期病院も含め転院患者のスムーズな受入を継続

□リハビリ医（非常勤）の増員により、整形疾患患者の受入を強化

②外来

□紹介状及び予約不要で受診できる「総合診療内科」の周知により、新規外来患者の集患を強化

③健康診断事業

□燕市胃がん検診の受託、企業健診の受託、人間ドックの受入枠拡大により収益を向上

2) 支出の削減

①各種契約の見直し

□各契約の仕様内容等を見直しや取引業者の変更等により、業務委託費を中心に支出削減を継続

②材料費の削減

□グループ内5病院での共同購入により材料費を削減

6. 目標管理（KPIの設定）

1) 収入面

区分	項目	単位	R5年度実績	R6年度実績	R7年度KPI
外来診療	1日当たりの患者数	人	304.3人	269.5人	259.9人
	1人1日当たりの診療収入	円	13,490円	13,220円	13,521円
入院診療	1日当たりの患者数	人	69.3人	75.6人	79.1人
	1人1日当たりの診療収入	円	32,990円	33,750円	32,727円

	(第3病棟入院単価)	円	(35,440円)	(33,780円)	(32,522円)
	(第5病棟入院単価)	円	(33,060円)	(32,700円)	(33,540円)
	(第9病棟入院単価)	円	(29,910円)	(34,910円)	(31,987円)
内視鏡	内視鏡検査人数	人	2,105	2,118	2500
	内視鏡手術件数	件	434	434	500

2) 支出面

区分	項目	単位	R5年度実績	R6年度実績	R7年度KPI
人件費	人件費率（対医業収益比率）	%	96.0%	86.6%	88.7%
材料費	材料費率（対医業収益比率）	%	23.9%	17.9%	19.1%

7. 施設管理

1) 管理施設の内容

県との基本協定に基づき、次の施設の管理を行います。

区分	構造	階層	竣工年度	延べ床面積 (㎡)
本館棟	RC	6	昭和48	17,771.25
機械室棟	RC	2	昭和48	
小児病棟	RC	4	昭和50	
診療棟	RC	2	昭和53	
CT棟	RC	2	昭和58	
検査棟	S	2	昭和60	

2) 主な利便施設

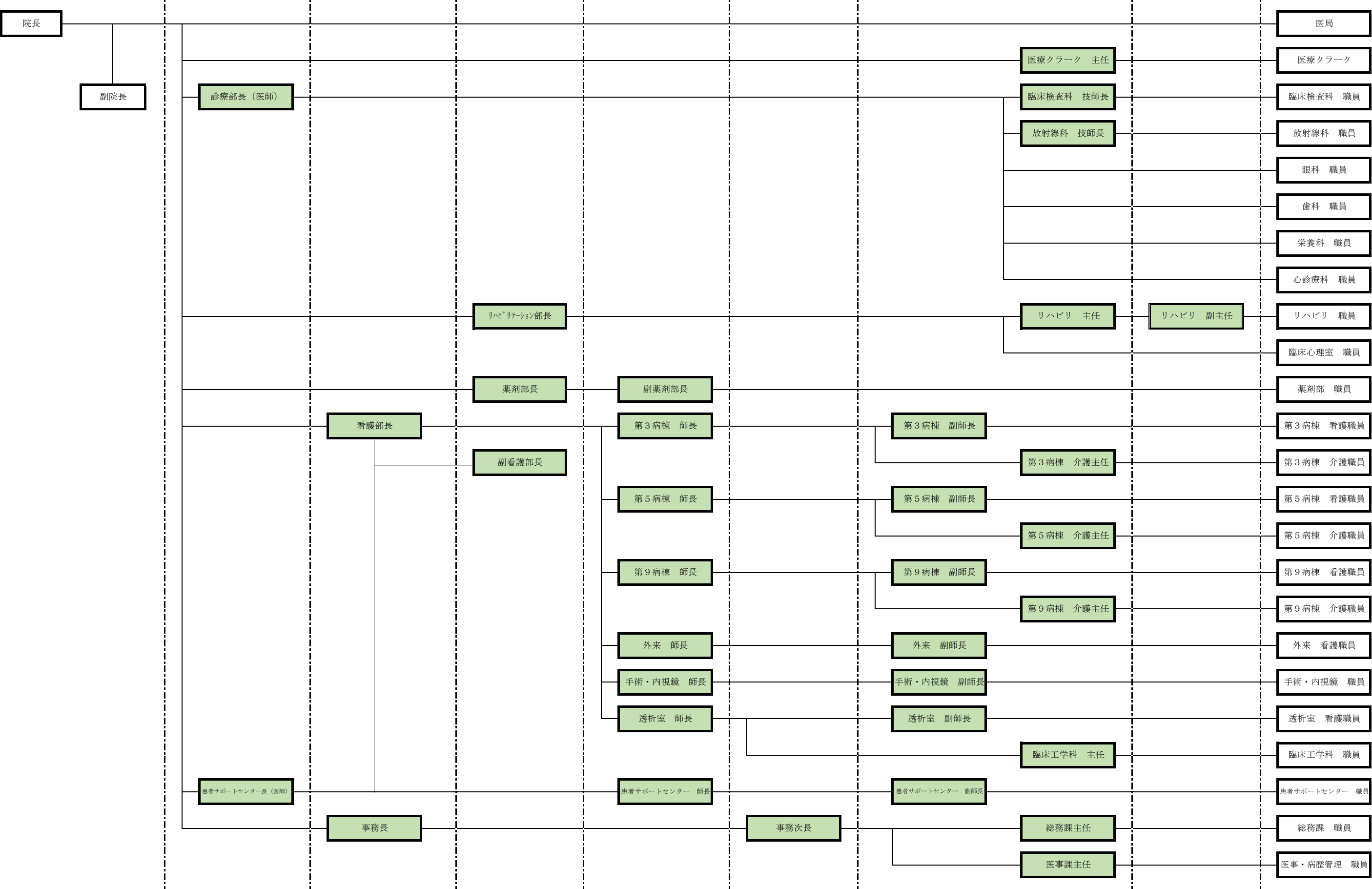
これまでと同様に売店をご利用いただけるよう努めます。

運営業者	同仁会
設置場所	1階 中央エレベーター前
定休日	日曜、祝日、年末年始（12月31日～1月3日）
営業時間	平日 8時～16時30分
内容	入院用品、介護用品、リハビリ用品、日用品、食品、雑誌、下着、衣料品、テレホンカード、イヤホン、テレビカード、切手、商品券等

3) 主な業務委託等

主な委託業務	委託内容	委託業者名
医療事務委託	医療事務の委託	(株) エム・エス・シー
清掃業務委託	院内清掃の委託	(株) 新潟県ビル管理協同公社
病棟補助等業務委託	外来、検査室等における補助業務（人材派遣）	(株) 東新
警備業務委託	夜間・休日の警備及び宿日直業務の委託	(株) 関越サービス
建物管理業務委託	建物およびボイラー設備の管理業務	(株) 関越サービス
洗濯業務委託	看護衣、診察衣等の洗濯業務の委託	新潟県基準寝具 (株)

【新潟県立吉田病院組織体系図】



【令和7年度 収支予算書】

単位：千円

勘定科目	合計
入院診療収益	944,267
室料差額収入	12,751
外来診療収益	854,020
保健予防活動収益	39,771
受託検査施設利用収益	3,294
その他の医業収益	7,373
保健等査定減	0
小計（医業収益）	1,861,476
運営費補助金収益	900,174
患者外給食収益	0
保育・託児所収益	0
雑収入	12,715
小計	912,889
事業収益計	2,774,365
医薬品費	243,500
診療材料費	112,000
医療消耗器具備品費	600
給食用材料費	0
期首材料棚卸高	0
期末材料棚卸高	0
材料費	356,100
医師給料(常勤)	201,576
外部医師給料(常勤)	182,520
看護師給料(常勤)	416,847
医療技術員給料(常勤)	187,354
介護職員給料(常勤)	63,798
事務員給与(常勤)	72,032
役員報酬(常勤)	0
看護師給料(非常勤)	21,024
医療技術員給料(非常勤)	12,936
介護職員給料(非常勤)	0
事務員給与(非常勤)	29,196
賞与(常勤)	251,172
賞与(非常勤)	0
退職金	0
法定福利費	206,516
確定拠出年金掛金	6,988
給与費	1,651,959

検査委託費	1,572
給食委託費	54,648
寝具委託費	7,800
医療委託費	26,800
清掃委託費	31,348
保守委託費	10,295
業務委託費	161,760
人材委託費	0
その他の委託費	27,762
委託費	321,985
減価償却費	3,832
器機賃借料	18,540
地代家賃	0
修繕費	24,000
固定資産税等	168
器機保守料	65,101
器機設備保険料	0
車両費関係費	60
設備関係費	111,701
研究費	2,183
研修費	4,032
研究研修費	6,215
福利厚生費	2,635
旅費交通費	3,612
職員被服費	6,108
通信費	3,062
広告宣伝費	1,144
消耗品費	16,904
消耗器具備品費	1,800
会議費	12
水道光熱費	127,820
保険料	2,496
交際費	240
諸会費	251
租税公課	100
寄付金	7,500
管理諸費	0
医業貸倒損失	0
貸倒引当金繰入額	0
貸倒引当金戻入	0
雑費	988

保育・託児所費用	0
患者外給食用材料委託	144
期首仕掛品棚卸高	0
期末仕掛品棚卸高	0
経費	174,816
控除対象外消費税等額	90,386
資産に係る控除対象外消費税負担	207
控除対象外消費税等額	90,593
本部費配賦額	61,000
医業費用計	2,774,369
医業利益	-4
受取利息割引料	4
受取配当金	0
有価証券売却益	0
医業外収益	4
支払利息	0
有価証券売却損	0
医業外費用	0
経常利益	0